図　書　室

西川　菜穂

2022 年は外国雑誌や海外の電子コンテンツの恒常的な値上がり（毎年 5%～10%の価格上昇）に加え、記録的な円安の打撃を大きく受けることとなり、例年以上に図書費管理に難渋する 1 年となった。

経費削減対策として、外国雑誌の定期購読タイトルを必要最小限にまで削減し、利用件数が伸び悩んでいた電子コンテンツ 2 製品（J－DreamⅢ、Medline Complete）の中止に踏み切った。

一方、2022 年 4 月、かねてより研修医や救急医から要望の声が高かった「Up To Date」を再導入し、エビデンスに基づく最新の医療情報にアクセスしやすい環境を整えた。

2022 年 10 月～11 月、図書担当者の急な休職により、約 1 ヶ月半の図書業務休止を余儀なくされ、利用者に多大な迷惑をかけることとなった。

このことは、図書室の人員体制を見直すきっかけとなり、2022 年 11 月、担当者が 1 名から 2 名へ増員された。

人　事

11 月　　澁谷真也　　入職

年間利用件数

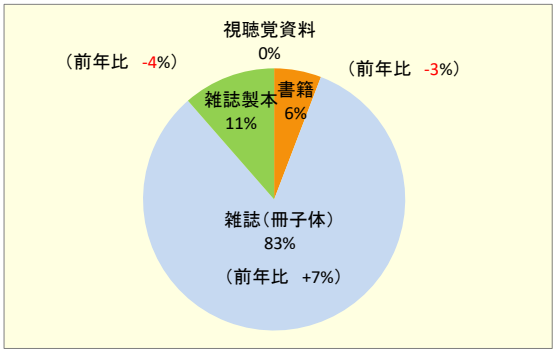
2022 年度の年間利用件数は 1,050 件で、前年より 208 件の減少となった。

資料別の利用比率は、例年通り雑誌（製本含む）の利用が全体の 94%（冊子体 83%＋雑誌製本 11%）と大半を占めている（グラフ 1）。

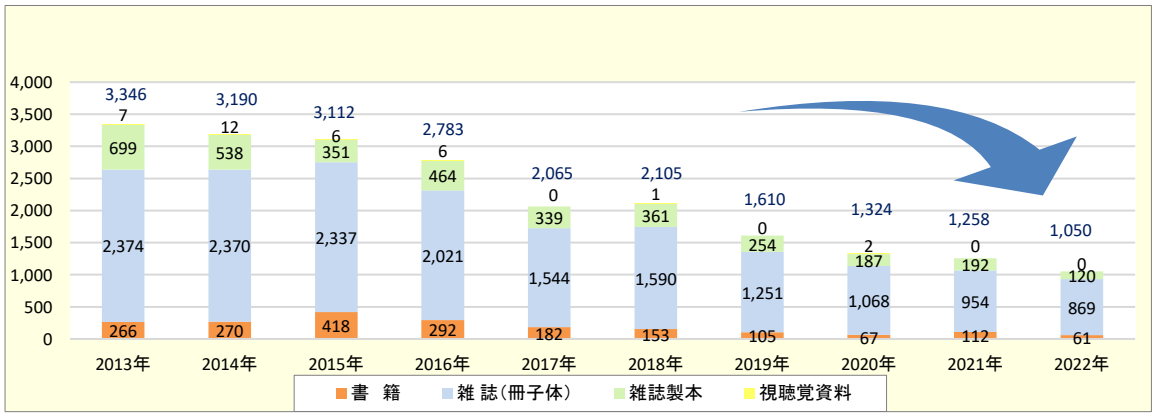
全文データベースの施設導入や、無料閲覧可能なオープンアクセス文献の増加により、図書室内資料の利用件数は年々減少傾向にあるが、2022 年は約 1 か月半の担当者休職（図書業務休止）も、利用件数減少の大きな要因となっている（グラフ 2）。

資料種別	貸出	複写	合計	前年比
書　籍	59	2	61	－51
雑　誌	806	63	869	－85
雑誌製本	1	119	120	－72
視聴覚資料	0	－	0	± 0
合　計	866	184	1,050	－208
前年比	－96	－112	－208	

表 1．年間利用件数（資料別）



グラフ 1．資料別利用比率



グラフ 2．年間利用件数の推移（過去 10 年間：2013 年～2022 年）

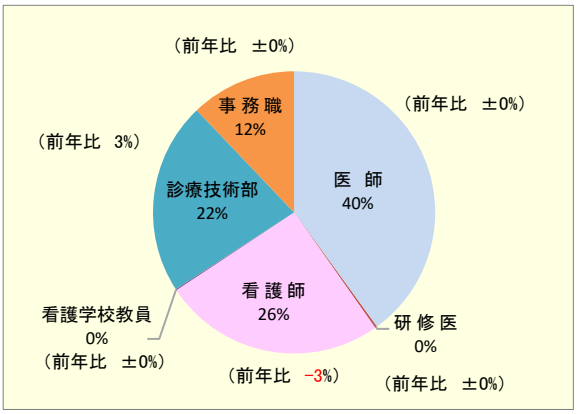
年間利用者数

2022 年度の年間利用者数は 1,312 名で、前年より 505 名の減少となった。職種別比率は、前年とほぼ変化が見られない（グラフ 3）。診療技術部内では、例年通り栄養士（27%）、PT（26%）の利用が多く、薬剤師にも利用増加傾向が見られた（グラフ 4）。

オンラインで各自文献を入手できる環境となり、図書室の利用者数は年々減少傾向である。2021 年は利用者数に若干の持ち直しが見られていたが、2022 年は約 1 ヶ月半の担当者休職（図書業務休止）により、再び大幅な減少に転じた（グラフ 5）。

職　種	院内	院外	合計	前年比
医　師	412	113	525	−195
研 修 医	3	0	3	−2
看 護 師	318	16	334	−200
看護学校教員	2	0	2	＋2
診療技術部	282	7	289	−52
事 務 職	159	0	159	−58
合　計	1,176	136	1,312	−505
前年比	−401	−104	−505	

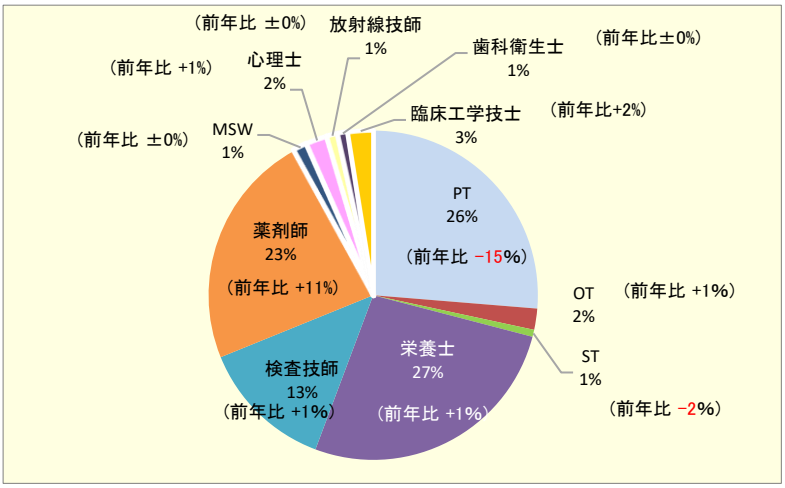
表 2．年間利用者数（職種別）



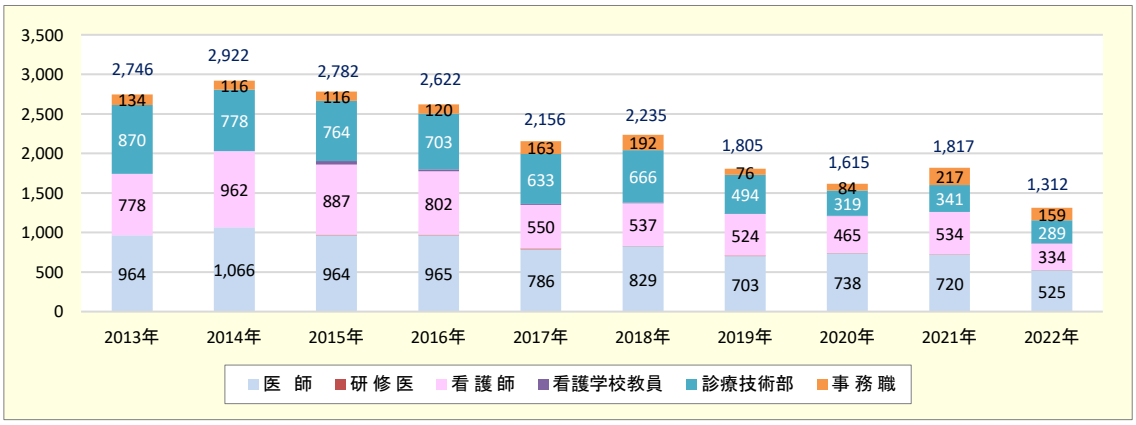
グラフ 3．職種別利用比率

職　種	合計	前年比
P　T	76	−64
O　T	6	＋2
S　T	2	−7
栄養士	77	−12
検査技師	38	−4
薬剤師	67	+28
MSW	4	±0
心理士	6	+3
放射線技師	3	−1
歯科衛生士	3	−1
臨床工学技士	7	＋4
合　計	289	−52

表 3．年間利用者数（職種別：診療技術部内）



グラフ 4．職種別利用比率【診療技術部内】



グラフ 5．年間利用者数の推移（過去 10 年間：2013 年～2022 年）

電子コンテンツの利用状況

医学書院をはじめ国内主要医学出版社 12 社 96 誌の電子ジャーナルが、遅延なく 1 つのプラットフォームで閲覧できる「医書.jp オールアクセス」の利便性は高く、年間利用件数は 7,817 件→10,178 件（前年比＋2,361 件）と大幅に増加した。日本語の医療系リファレンスデータベース「今日の臨床サポート」も、電子カルテからの利用が伸び、年間利用件数が 7,415 件→9,593 件（前年比＋2,178 件）に増加した。

一方、今まで最多利用だった「メディカルオンライン」は、大幅な減少傾向が見られた。

コンテンツ名	利用件数	前年比
医中誌 Web	4,232	－2,759
J-DreamⅢ（2022.4 中止）	32	－253
メディカルオンライン	6,374	－3,284
医書.jp オールアクセス	10,178	+2,361
Medline Complete ((2022.5 中止)	326	－522
今日の臨床サポート	9,593	+2,178
Up To Date（2022.4 再導入）	338	－
合　計	31,073	

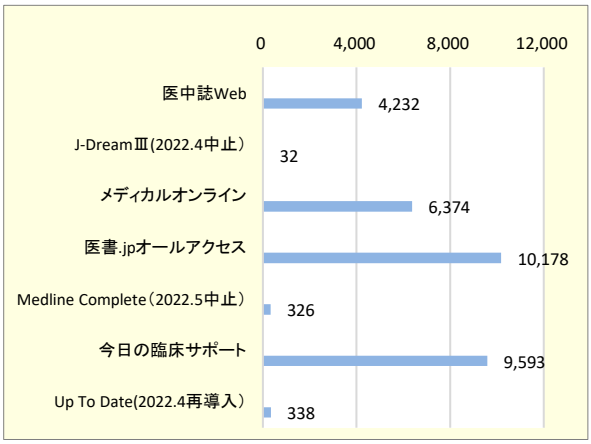
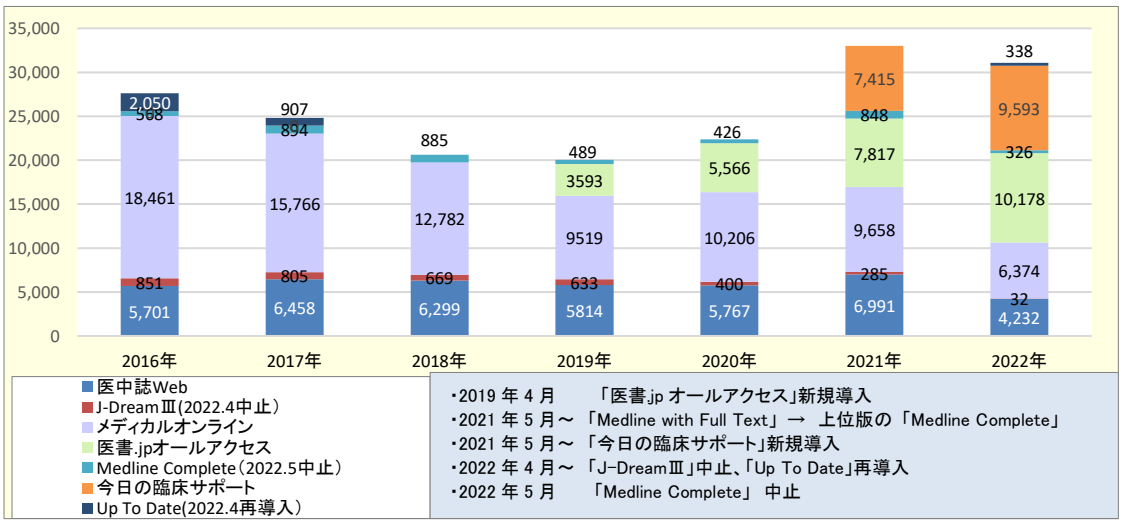


表 4 及びグラフ 6. 年間利用件数（電子コンテンツ別）

コンテンツ名	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
医中誌 Web	5,701	6,458	6,299	5,814	5,767	6,991	4,232
J-DreamⅢ（2022.4 中止）	851	805	669	633	400	285	32
メディカルオンライン	18,461	15,766	12,782	9,519	10,206	9,658	6,374
医書.jp オールアクセス	－	－	－	3,593	5,566	7,817	10,178
Medline Complete ((2022.5 中止)	568	894	885	489	426	848	326
今日の臨床サポート	－	－	－	－	－	7,415	9,593
Up To Date（2022.4 再導入）	2,050	907	－	－	－	－	338

表 5. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2016 年～2022 年）



グラフ 7. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2016 年～2022 年）

図書室間文献相互貸借件数

他院から当院への年間複写依頼件数は、319 件→201 件（前年比 －118 件）に減少し、当院から他院への年間複写依頼件数は、324 件→229 件（前年比 －95 件）に減少した。

担当者の休職により、約 1 か月半、相互貸借業務を休止したことが減少の要因となっている。

過去 10 年間（2013 年～2022 年）の文献相互貸借件数の推移をみると、2013 年までは複写受付件数が複写依頼件数を大幅に上回っていたが、2017 年にコスト削減のため購読タイトルを大幅に減らしてからは、複写依頼件数が受付件数をかなり上回る状況が続いていた。

2021 年からは、複写受付件数（貸）と複写依頼件数（借）が均衡する状況が続いている。（グラフ 8）。

年	複写受付（貸）	複写依頼（借）
2013 年	925	526
2014 年	638	696
2015 年	672	663
2016 年	571	458
2017 年	432	427
2018 年	337	500
2019 年	219	356
2020 年	293	355
2021 年	319	324
2022 年	201	229

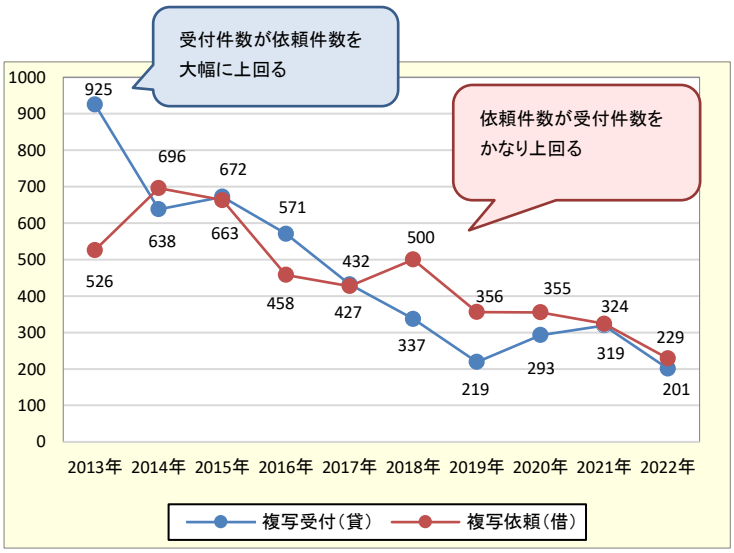
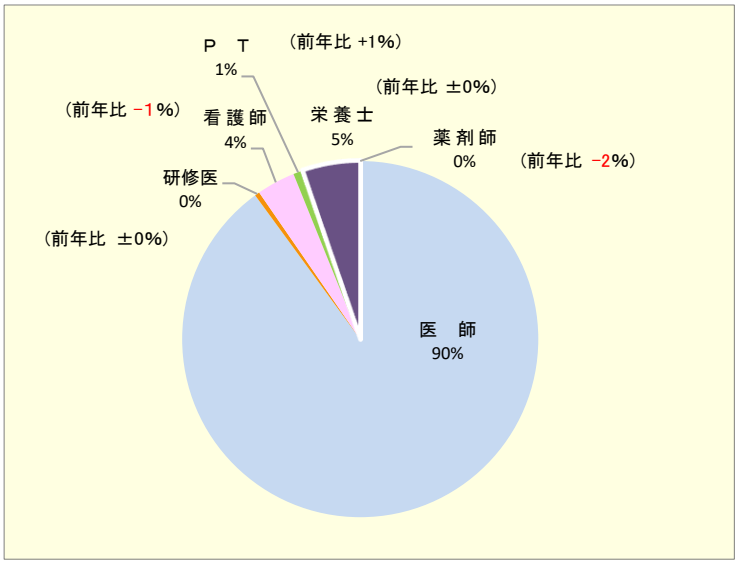


表 6 及びグラフ 8. 文献相互貸借件数の推移（過去 10 年間：2013 年～2022 年）

文献取寄せ（外注）依頼件数

文献の取寄せ依頼件数は 229 件(前年比－95 件）に減少し、特に医師からの依頼が減少した。担当者の休職により、約 1 か月半、相互貸借業務を休止したことが依頼件数減少の要因となっている。職種比率では、例年通り医師が 90%と圧倒的に高い割合を占めている（グラフ 9）。

職　種	件数	前年比
医　師	206	－78
研修医	1	±0
看 護 師	8	－9
看護学校教員	0	±0
P　T	2	＋2
O　T	0	±0
S　T	0	±0
臨床検査技師	0	±0
栄 養 士	12	－4
薬 剤 師	0	－6
放射線技師	0	±0
臨床工学技士	0	±0
事 務 職	0	±0
OB（院外）	0	±0
合　計	229	－95



グラフ 9. 職種別 文献取寄せ依頼比率

表 7. 職種別 文献取寄せ依頼件数